

第24期・第2回 ビッグデータ分科会 議事要録

(※情報ネットワーク社会基盤分科会、ユビキタス状況認識社会基盤分科会と共同開催)

日 時 平成30年10月1日(木) 13:00～17:00

場 所 日本学術会議6階6-C(1)(2)(3)会議室

出席者(20名、敬称略):

相澤(彰)、相澤(清)、相田(skype)、東野、有田、石塚、今井、河原林、北川(源)、木俣、喜連川、佐藤、仙石、高安、辻、鳥澤、松井(Skype)、松田、守谷、安信

欠席者(12名、敬称略):

大倉、徳山、加藤、北川(博)、黒田、黒橋、西尾、長谷山、原、樋口、宮崎、渡辺

資 料

資料1. 共同分科会議事次第

議 事

1. 講演

・STORIA 法律事務所 柿沼太一氏による法律の専門家の視点からの講演「AI ビジネスに関する法務・契約・知財～現場での最先端課題を題材に～」と、それに対する・質疑および意見交換を行った。

・AI と法律・知財に関する問題領域には多くの課題があり、今後、この領域の我が国の立法をどうすべきなのか議論を継続する必要があることで一致した。

講演の内容は以下のとおりである。

- ・AI と法律・知財に関する問題領域の外観
- ・AI の生成に関する法律問題
- ・研究現場からの質問について
- ・AI の開発に関する問題～AI・データ利用に関するガイドラインの解説～
- ・AI の活用～AI が自動的に生成したものを法的に保護するにはどうしたらよいか～
- ・AI 活用による法的責任について

2. 合同シンポジウムについて

・本日の合同分科会での議論を踏まえて、情報ネットワーク社会基盤分科会、ビッグデータ分科会、ユビキタス状況認識社会基盤分科会で合同シンポジウムを行うことが分科会委員長より提案された。

・シンポジウムテーマ案としては、AI と法、個人情報の保護とプライバシー、セキュリティ、研究者の倫理、それらに関する人材育成などが提案された。1月以降の開催を目標に企画を進めることとした。

3. その他

- ・次回の分科会開催までの間は、メール審議とする。